

2009年3月期 第2四半期決算 説明資料

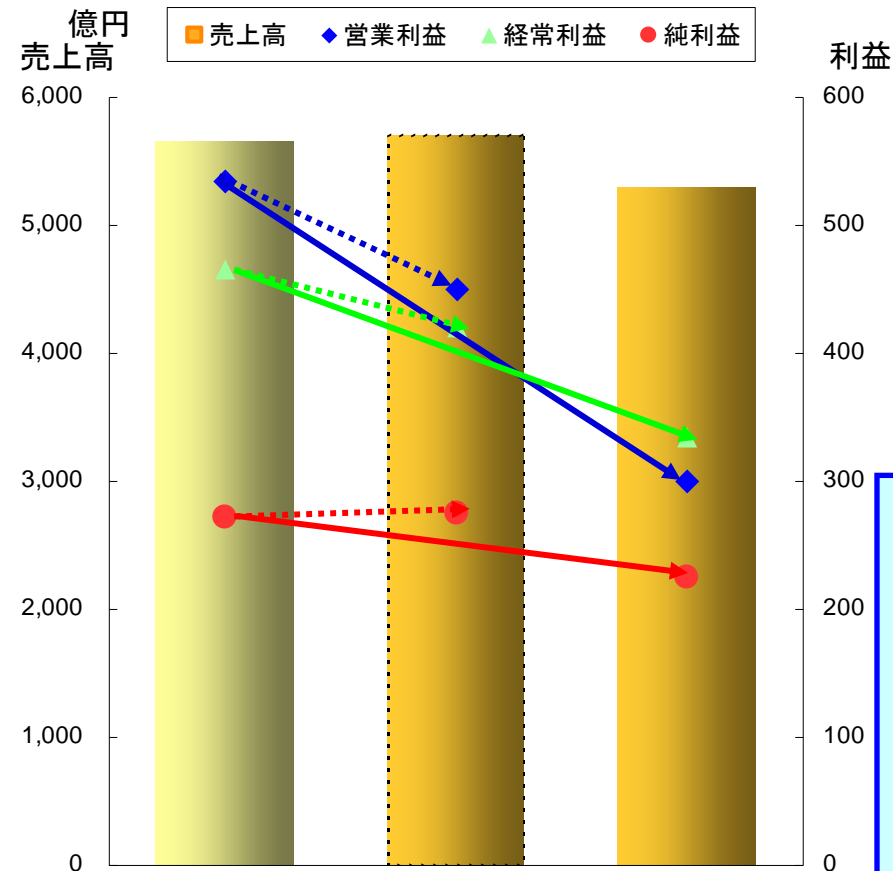
ブラザー工業株式会社

2008年11月4日

この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関わるさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。

2009年3月期 通期予想

()は為替影響を除いた増減率 単位:億円

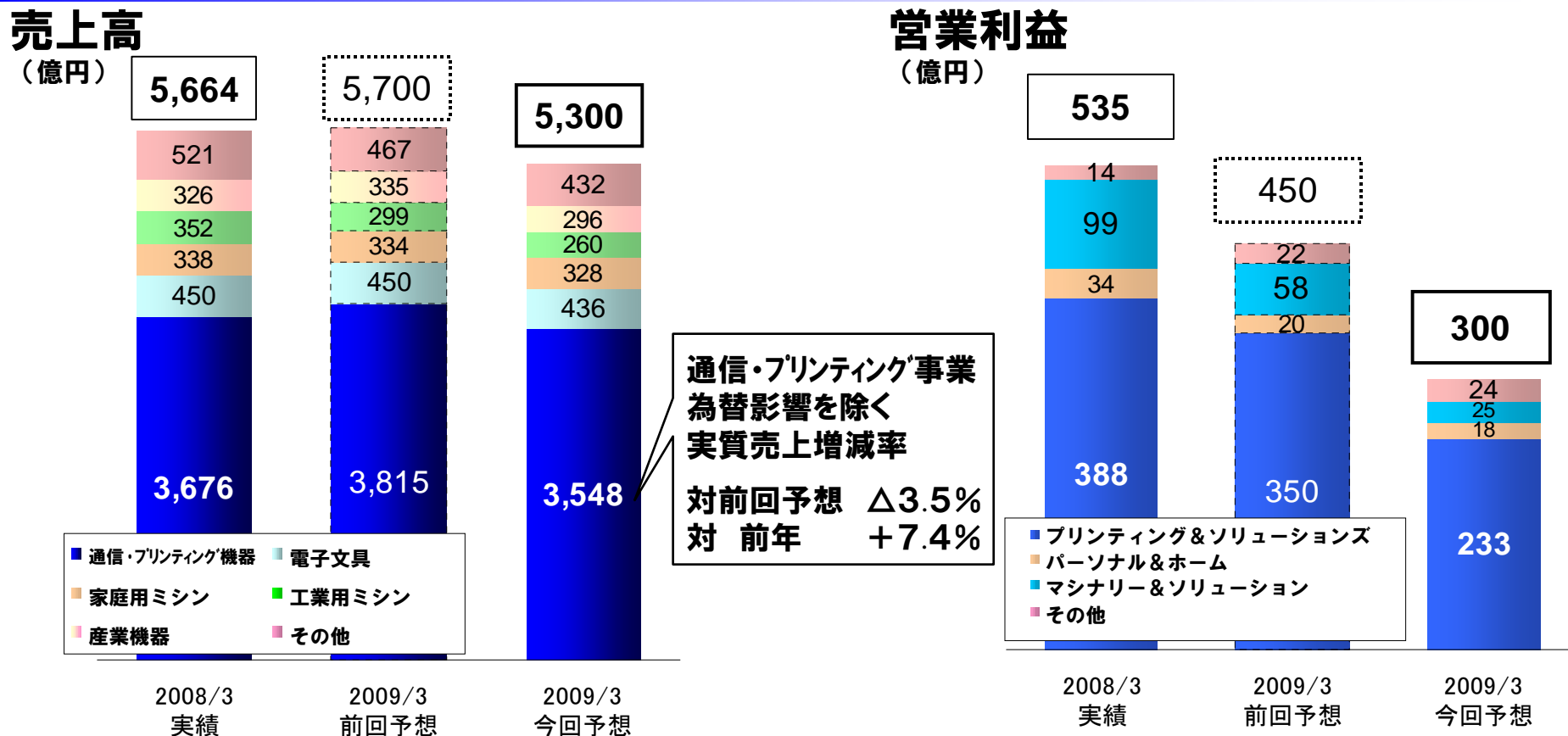


利益	2009年3月期 年間予想	対前回予想増減		対前年実績増減	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	5,300	△ 400	△7.0% (△4.4%)	△ 364	△6.4% (2.6%)
営業利益	300	△ 150	△33.3%	△ 235	△43.9%
経常利益	335	△ 85	△20.2%	△ 130	△28.0%
純利益	225	△ 50	△18.2%	△ 46	△17.0%

	2008/3 年間	2009/3 前回予想	2009/3 今回予想
USドル	114.13	101.27	102.89
ユーロ	161.88	160.96	149.30
		※2Q以降想定	※3Q以降想定
		100.00	100.00
		160.00	135.00

- マクロ経済環境の急速な悪化や欧州通貨の急落を反映し、売上・利益を下方修正
- 対前回予想比での為替レート変動によるインパクト:
 - ◆ 売上高: △150億円
 - ◆ 営業利益: △105億円
 - ◆ 営業外為替損益 +55億円
 為替予約でのヘッジにより、経常利益レベルでは影響額は縮小
- 設備投資は計画比で約40億の減少、研究開発費は計画並みの見込み
- 経費・コスト削減努力を継続する一方、中長期戦略に基づいた施策を着実に実行

セグメント別売上高・営業利益



- 設備投資需要の急減速で、工業用マシン、産業機器事業の売上・利益を大幅に下方修正
- プリンティング事業の利益修正要因は、為替変動による影響が大半
為替影響と不透明な景気動向から、売上予想を下方修正するものの、
対前年では新製品効果と堅調なサプライ需要で、現地通貨ベースで増収の見込み

重点課題の進捗



TV広告



雑誌広告

「カラーのブラザー」を目指し施策を推進 — カラーレーザー

- 不透明な景気状況もあり、
カラーレーザー市場の拡大は想定よりもスロー
- 厳しい環境下だが、市場ポジション確立にむけ
広告宣伝・プロモーションを積極的に展開
特にアメリカでは複合機中心に健闘し、シェア拡大



店頭ディスプレイ

「カラーのブラザー」を目指し施策を推進 — インクジェット

- ホーム系モデルを一新するとともに、ビジネス系モデルを拡充
- この秋より順次発売を開始し、年末商戦に向け売上拡大を目指す



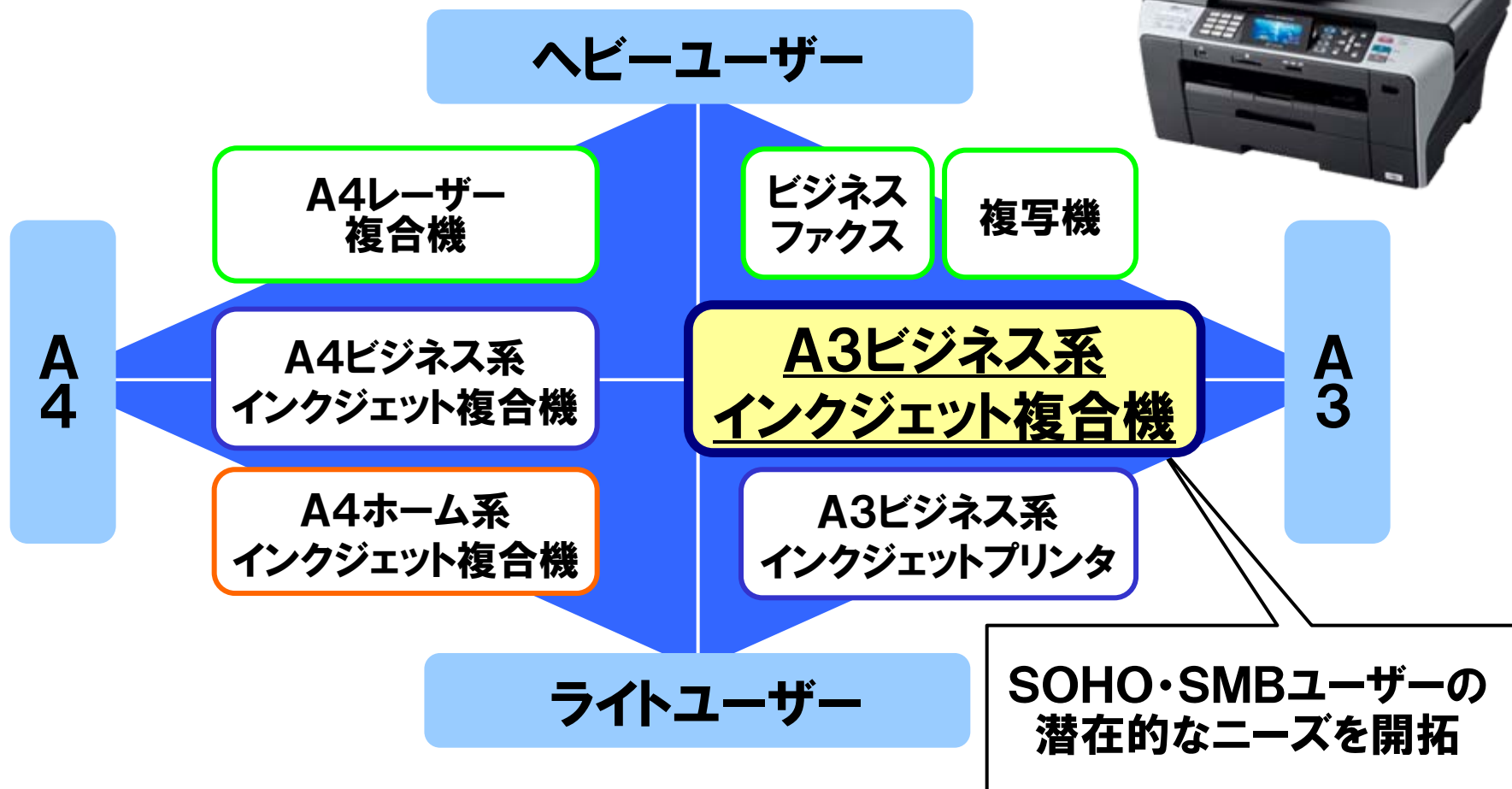
ホーム系モデル



A3対応 ビジネス系モデル

「カラーのブラザー」を目指し施策を推進 — インクジェット

➤ 世界最小^{*}サイズの「A3カラーインクジェット複合機」は従来市場になかったユニークな商品として各国で好評



コア技術開発の加速と、次世代の柱としての新規事業の育成・拡大

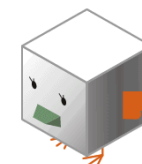
- 薄型電子ビューワ
試作機を展示会へ参考出品



- ジョギング用音楽配信
「EXERMUSIC」のサービス開始



- 次世代コンテンツ配信システム
「Einy (アイニー)」
株式会社ミオソフトへ提供開始



複数のプロジェクトが事業化へ向け進展

戦略投資の実行

➤ HOYA株式会社がペンタックスブランドで展開するA4サイズのモバイルプリンタ事業を9月1日付で譲受



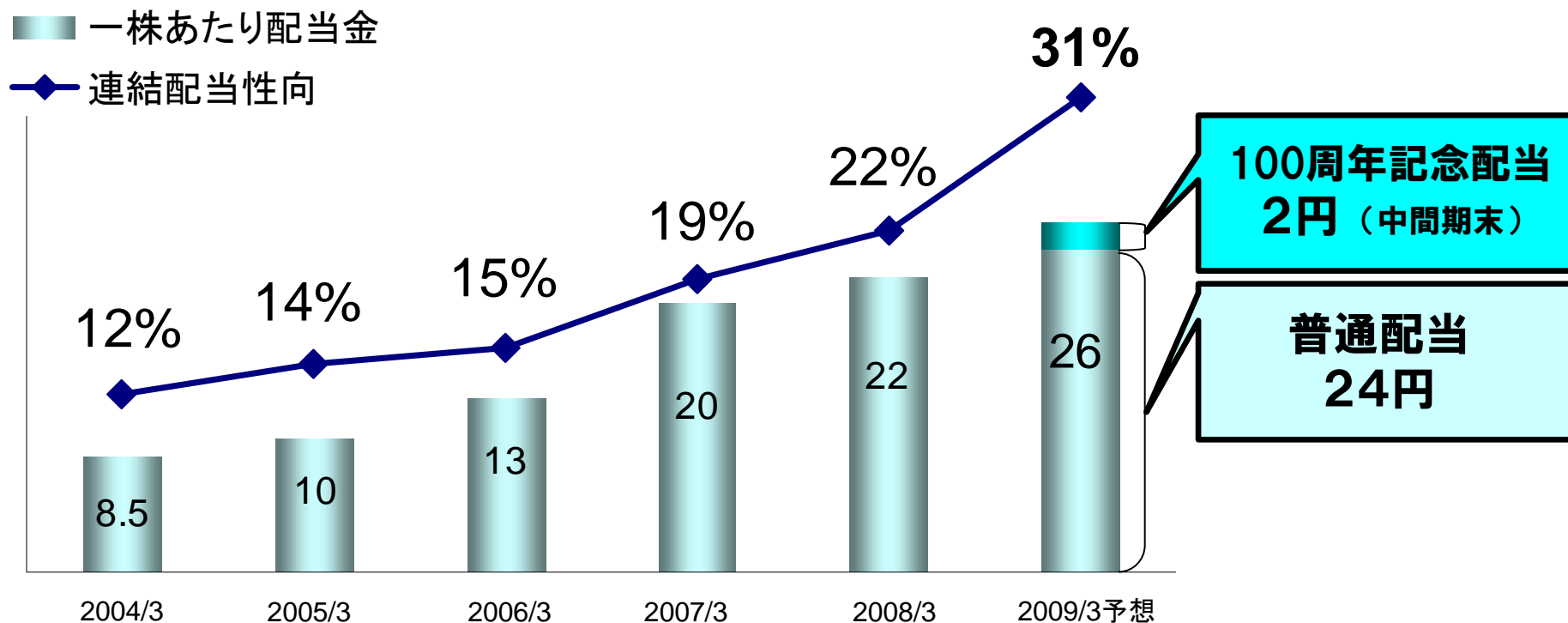
特定用途市場向け
ラベルライター・ラベルプリンタ

A7・A6モバイルプリンタ A4モバイルプリンタ



事業買収で特定用途向け市場へのソリューション提供力を強化

配当の推移



配当は従来予想から変更無し

2009年3月期 第2四半期決算と 通期の見通し

1. 連結決算概要

<2009年3月期 第2四半期累計実績>



単位: 億円

	第2四半期 6ヶ月累計			
	2009/3 2Q(累計実績)	2008/3 2Q(累計実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	2,566	2,783	△ 217	△7.8% (△2.3%)
営業利益	172	265	△ 93	△ 35.0%
営業利益率	6.7%	9.5%	△ 2.8%	
営業外損益	△ 11	△ 50	38	
経常利益	161	215	△ 54	△ 25.3%
特別損益	3	13	△ 10	
法人税他	46	85	△ 38	
四半期純利益	117	143	△ 26	△ 18.2%

【参考】第2四半期 3ヶ月間			
2009/3 2Q(3ヶ月実績)	2008/3 2Q(3ヶ月実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
1,305	1,410	△ 105	△7.4% (△2.4%)
80	145	△ 65	△ 44.6%
6.2%	10.3%	△ 4.1%	
△ 16	△ 28	13	
65	117	△ 52	△ 44.4%
5	9	△ 4	
18	43	△ 25	
53	83	△ 30	△ 36.6%

単位: 円

換算レート	USD	105.36	119.03	△ 13.67
	EUR	161.56	162.05	△ 0.49

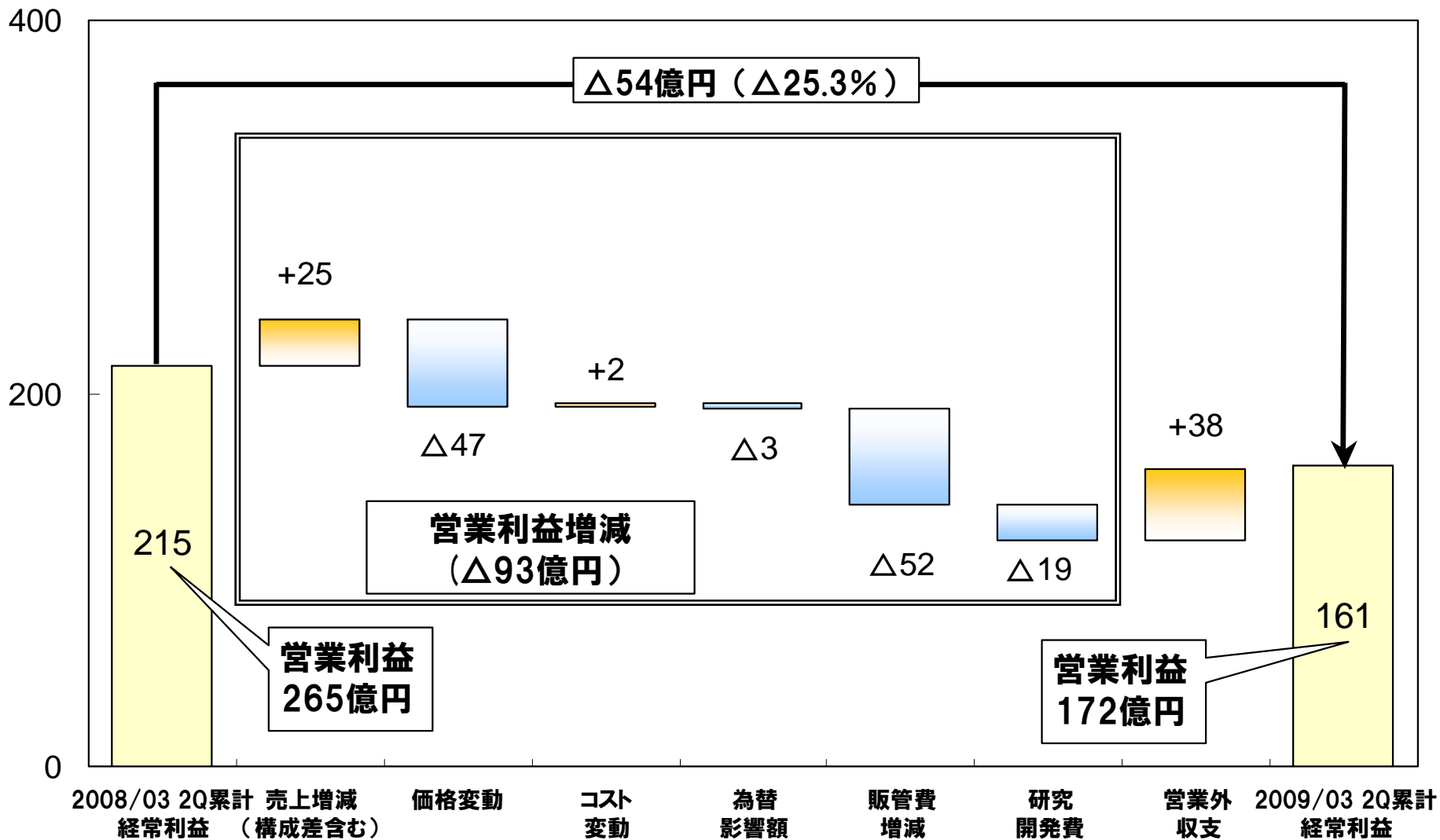
106.87	118.43	△ 11.56
161.62	162.67	△ 1.05

- 売上高は、為替の換算影響と工業用ミシンの不振、事業譲渡などにより減収
- 営業利益は、原材料の高騰などのコストアップ要因や、プリンティング事業における市場競争の激化および、工業用マシン事業の不振により減益
- 営業外での為替損益収支は改善、また、税効果会計の影響による法人税等が減少

2. 経常利益増減要因

<2009年3月期 第2四半期累計実績>

単位：億円



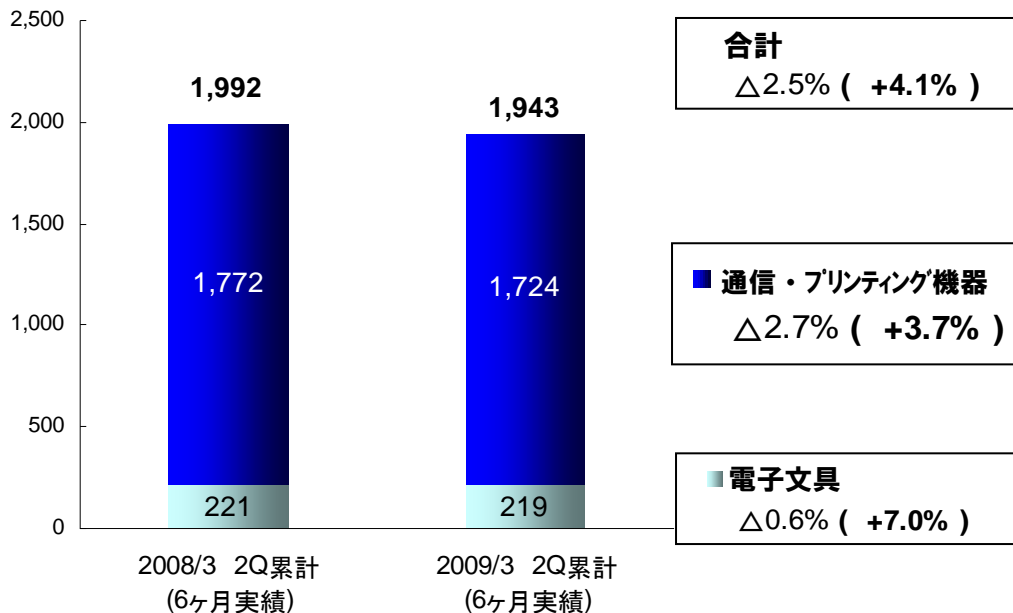
3-1. プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益

<2009年3月期 第2四半期累計実績>

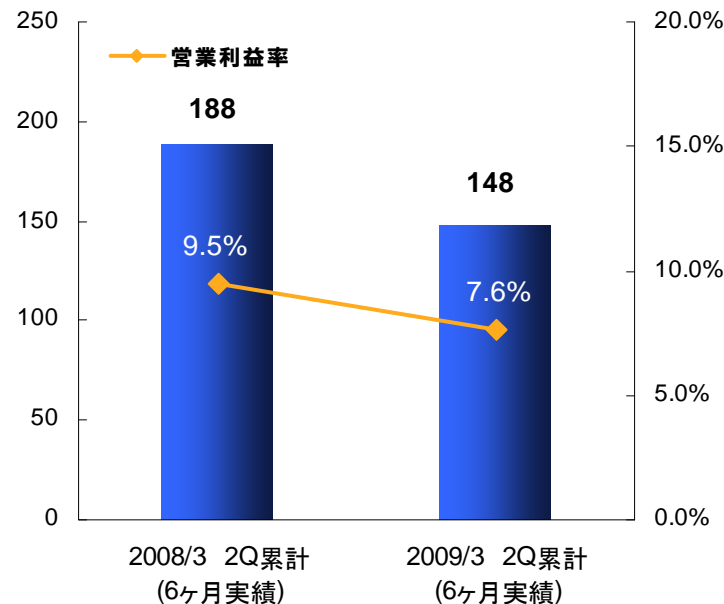
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (累計実績)	2009/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	636	620	△ 2.5% (+9.4%)
欧州	770	740	△ 4.0% (△0.9%)
アジア他	192	195	+1.5% (+9.0%)
日本	173	169	△ 2.5% (△2.5%)

電子文具

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (累計実績)	2009/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	119	113	△5.1% (+6.5%)
欧州	69	72	+5.1% (+7.9%)
アジア他	16	17	+7.8% (+14.1%)
日本	17	17	+0.6% (+0.6%)

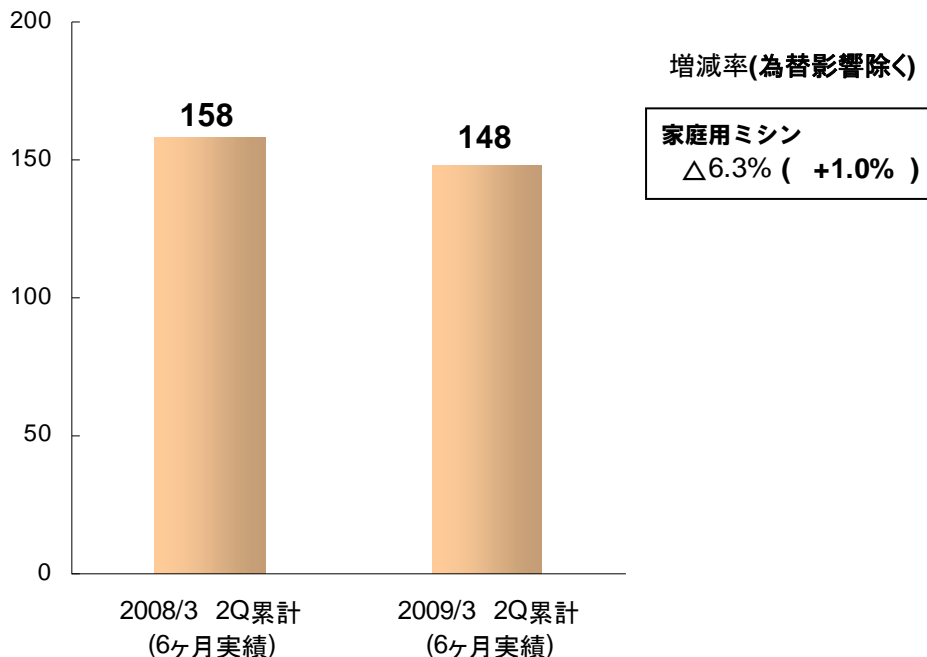
- 通信・プリンティング機器は、レーザー・インクジェット事業が現地通貨ベースで増収
- 営業利益は、市場競争の激化に伴う販促費の増加や、原材料の高騰などのコストアップ要因により減益

3-2. パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益

<2009年3月期 第2四半期累計実績>

売上高

(億円)



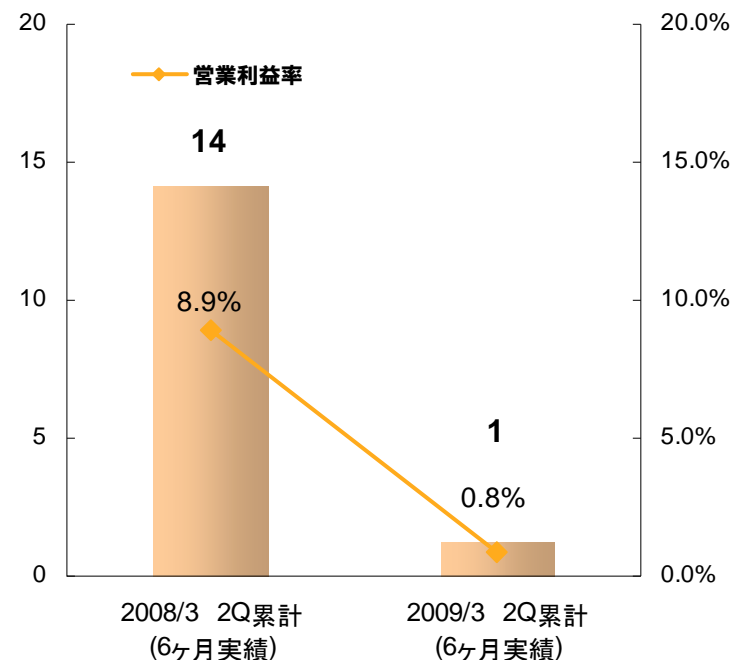
家庭用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (累計実績)	2009/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	72	61	△15.2% (△5.5%)
欧州	41	41	+1.7% (+10.7%)
アジア他	12	14	+20.1% (+28.1%)
日本	33	30	△6.4% (△6.4%)

営業利益

(億円)



➤ 売上高は前年並みだが、
中・高級機の減少による売上構成の変動と
販管費の増加により減益

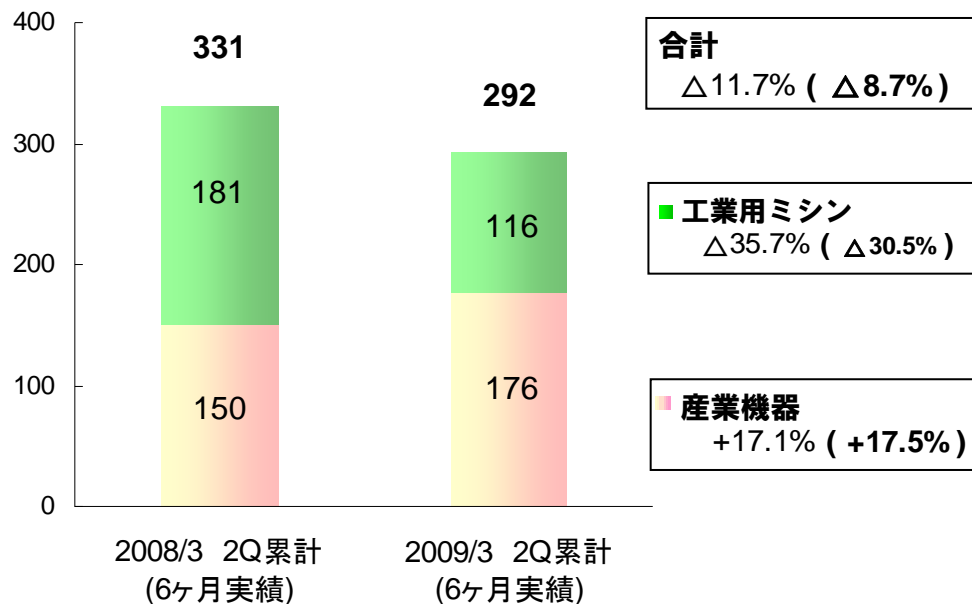
3-3. マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益

<2009年3月期 第2四半期累計実績>

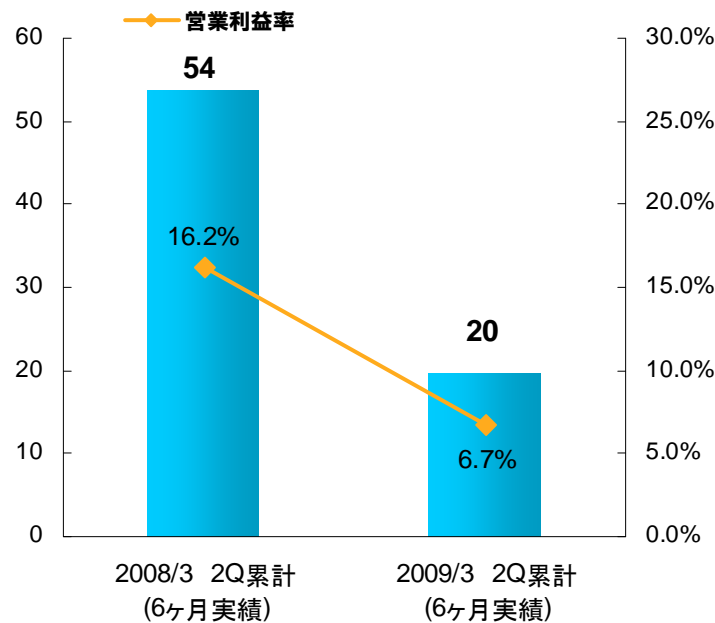
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (累計実績)	2009/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	34	26	$\Delta 23.8\%$ ($\Delta 14.2\%$)
欧州	22	16	$\Delta 25.5\%$ ($\Delta 25.5\%$)
アジア他	106	64	$\Delta 40.2\%$ ($\Delta 34.4\%$)
日本	18	10	$\Delta 44.7\%$ ($\Delta 44.7\%$)

産業機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (累計実績)	2009/3 2Q (累計実績)	増減率
米州	7	12	$+76.5\%$
欧州	14	11	$\Delta 20.3\%$
アジア他	93	122	$+32.2\%$
日本	36	30	$\Delta 17.9\%$

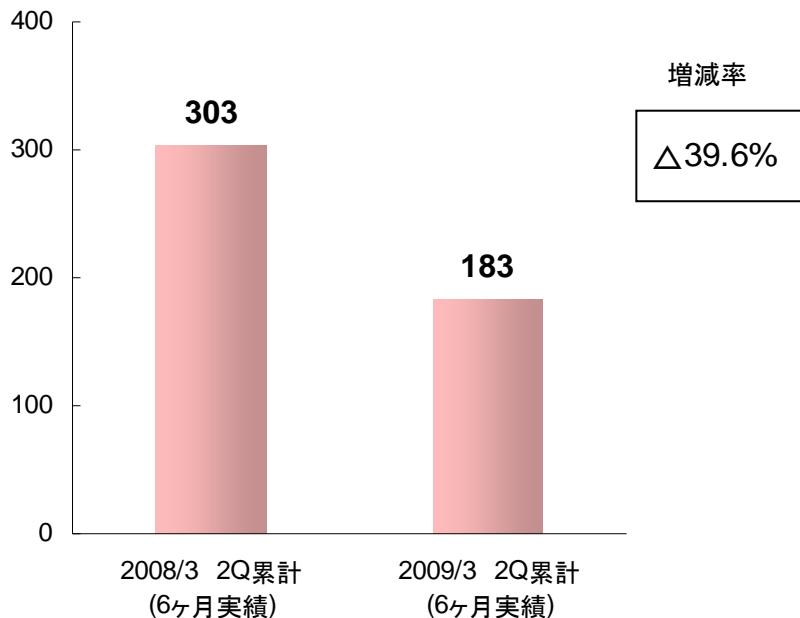
- 売上高は産業機器が好調に推移したものの工業用マシンで大幅な減収
- 営業利益は工業用マシンの減収の影響により大幅な減益

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

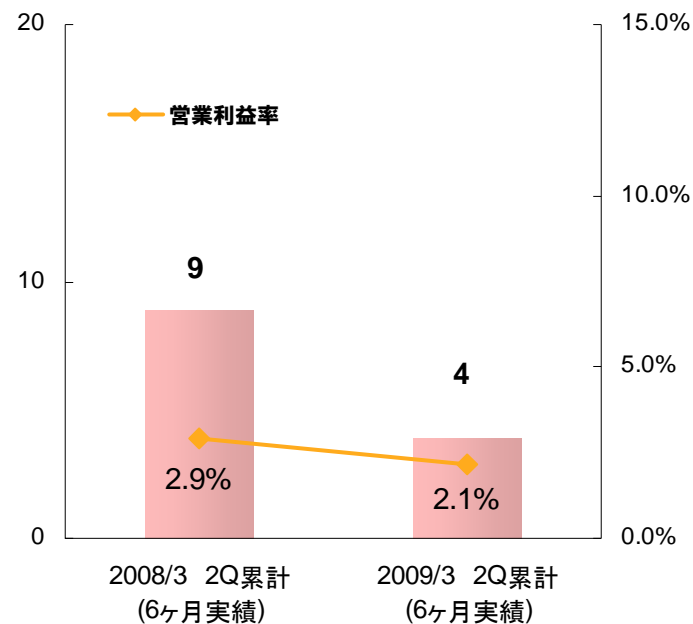
3-4. その他事業 売上高・営業利益

<2009年3月期 第2四半期累計実績>

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

- PC等販売子会社譲渡などの影響により減収
- 売上の減少により減益

4. 連結業績予想

<2009年3月期 通期予想>

単位: 億円

	2009/3 予想 (A)	2008/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2009/3 前回予想 (8/1発表) (C)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/C - 1)
売上高	5,300	5,664	△ 364	△6.4% (2.6%)	5,700	△7.0% (△4.4%)
営業利益	300	535	△ 235	△43.9%	450	△33.3%
営業利益率	5.7%	9.4%	△3.8%		7.9%	
営業外損益	35	△ 70	105		△ 30	
経常利益	335	465	△ 130	△28.0%	420	△20.2%
特別損益	0	△ 3	3		△ 5	
法人税他	110	192	△ 82		140	
当期純利益	225	271	△ 46	△17.0%	275	△18.2%

単位: 円

換算レート	USD	102.89	114.13	△ 11.24	101.27
	EUR	149.30	161.88	△ 12.58	160.96

※今回予想 第3四半期以降想定レート USD 100.00 EUR 135.00

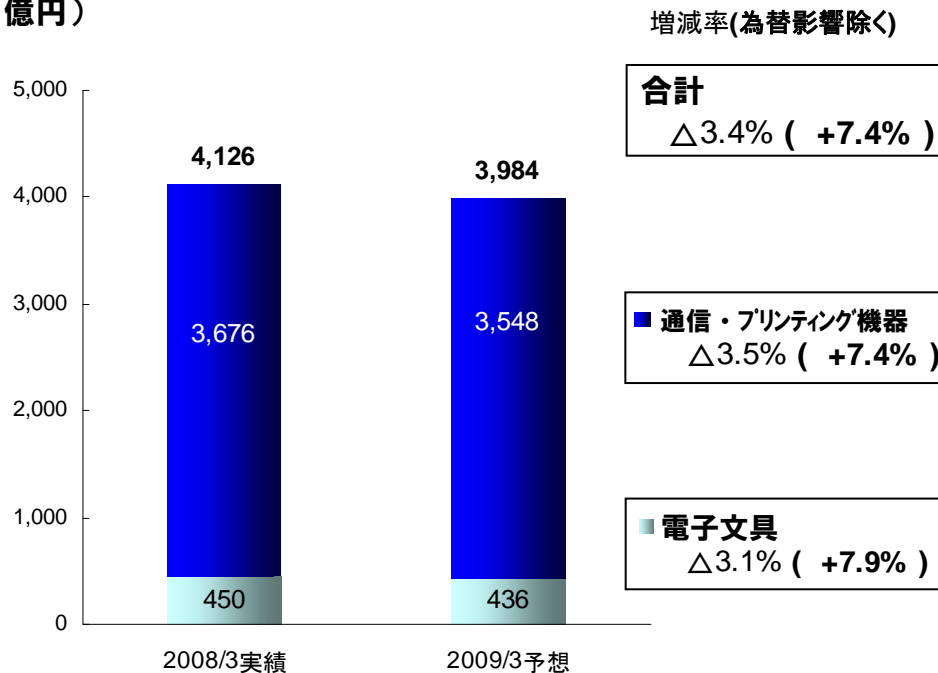
- 売上高は、大幅な為替のマイナス影響があるものの、プリンティング事業では現地通貨ベースで増収を見込む
- 為替のマイナス影響、販管費の増加、原材料の高騰などの要因が増収効果を大きく上回り、営業利益は減益の見込み
- 営業外での為替損益収支は改善、また、税効果会計の影響による法人税等が減少する見込み

4-1. プリンティング&ソリューションズ事業

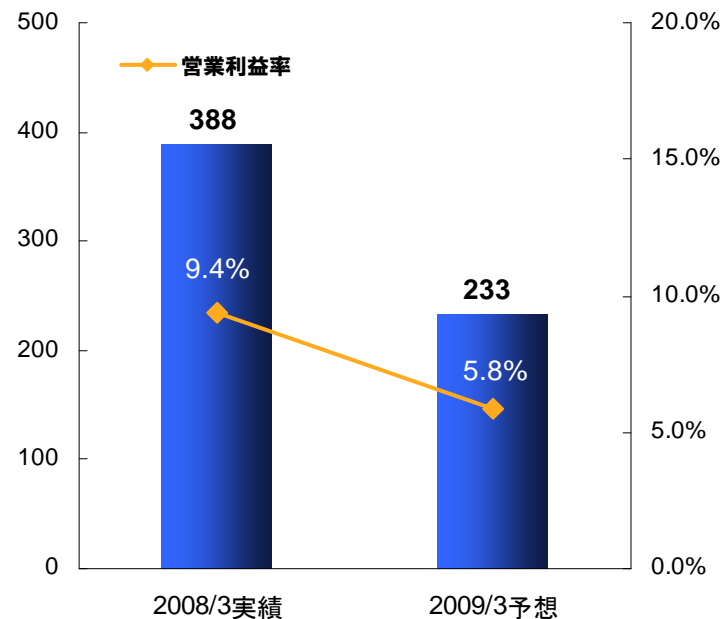
売上高・営業利益

<2009年3月期 通期予想>

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3実績	2009/3予想	増減率(為替影響除く)
米州	1,291	1,261	△2.3% (+10.0%)
欧州	1,650	1,514	△8.3% (+3.3%)
アジア他	376	398	+5.9% (+19.3%)
日本	359	375	+4.4% (+4.4%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

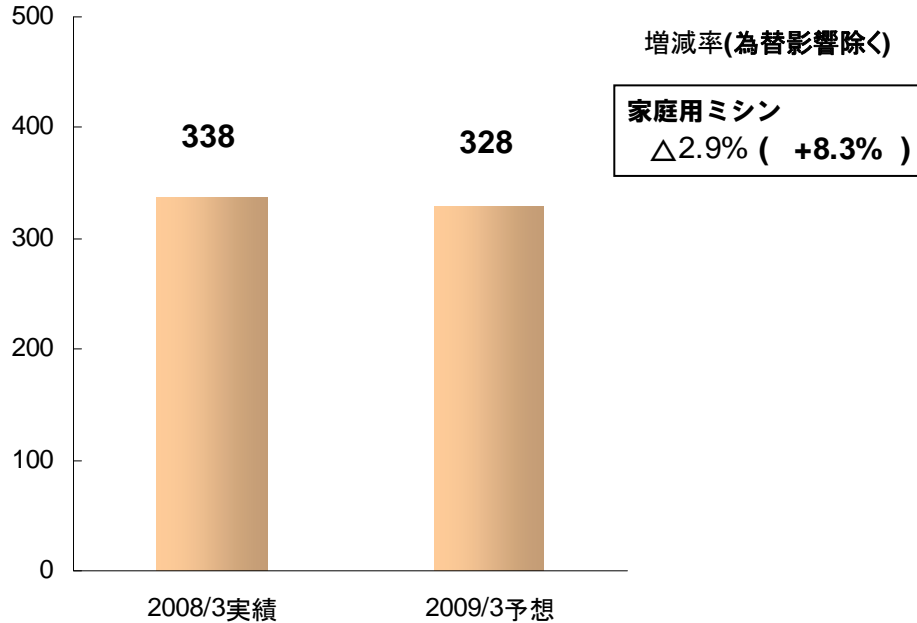
	2008/3実績	2009/3予想	増減率(為替影響除く)
米州	233	226	△2.8% (+9.3%)
欧州	148	141	△4.6% (+6.7%)
アジア他	34	33	△4.3% (+7.9%)
日本	35	36	+3.3% (+3.3%)

- 通信・プリンティング機器はレーザー・インクジェット事業が現地通貨ベースで増収となる見込み
- 為替のマイナス影響に加え、販管費の増加、原材料の高騰などのコストアップ要因などにより、減益となる見込み

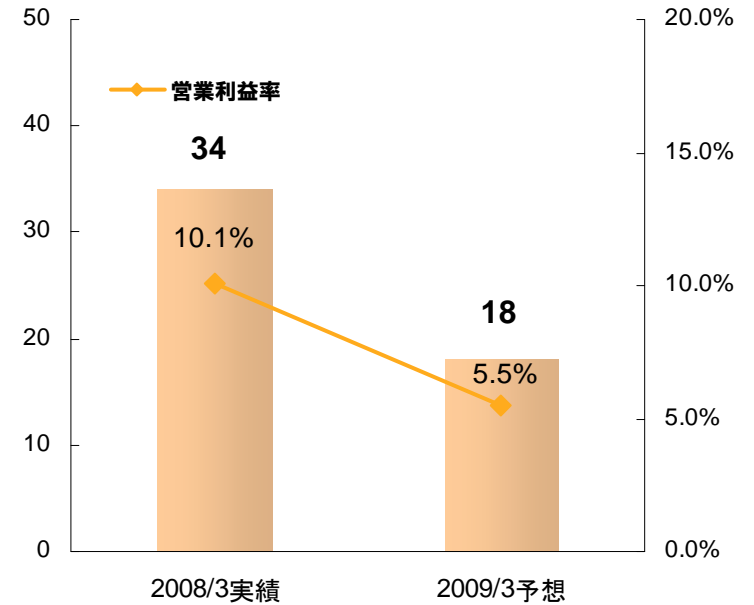
4-2. パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益

<2009年3月期 通期予想>

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



家庭用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 実績	2009/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	153	155	+1.2% (+14.3%)
欧州	94	83	△11.8% (+2.7%)
アジア他	27	26	△4.9% (+10.3%)
日本	63	64	+1.2% (+1.2%)

➤ 低級機の増加による現地通貨ベースの売上増はあるものの、中・高級機の減少による売上構成の変動と販管費の増加により減益

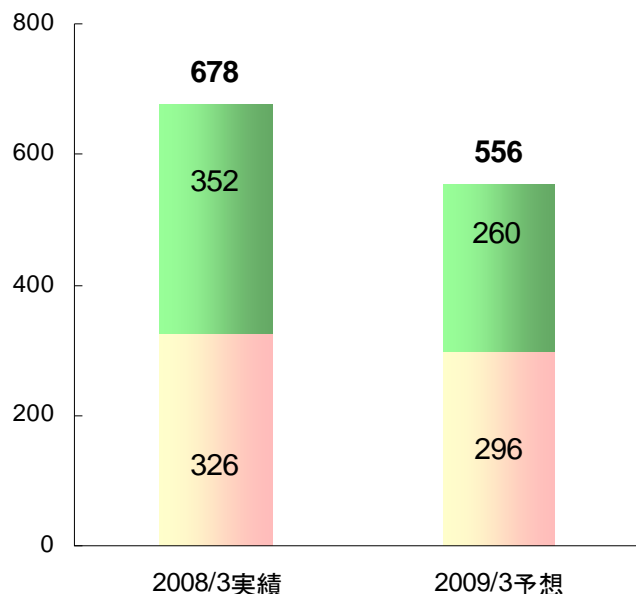
4-3. マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益

<2009年3月期 通期予想>

売上高

(億円)



増減率(為替影響除く)

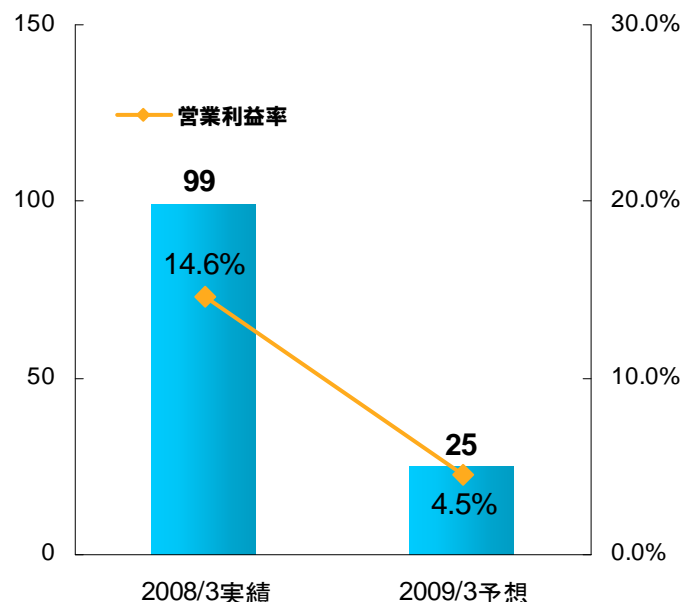
合計
△18.0% (△14.6%)

工業用マシン
△26.2% (△19.9%)

産業機器
△9.2% (△8.8%)

営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3実績	2009/3予想	増減率(為替影響除く)
米州	64	53	△17.8% (△7.3%)
欧州	45	32	△29.3% (△22.1%)
アジア他	205	154	△24.8% (△18.8%)
日本	38	21	△44.4% (△44.4%)

産業機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3実績	2009/3予想	増減率
米州	14	20	+35.2%
欧州	26	23	△10.0%
アジア他	215	195	△9.0%
日本	71	58	△18.5%

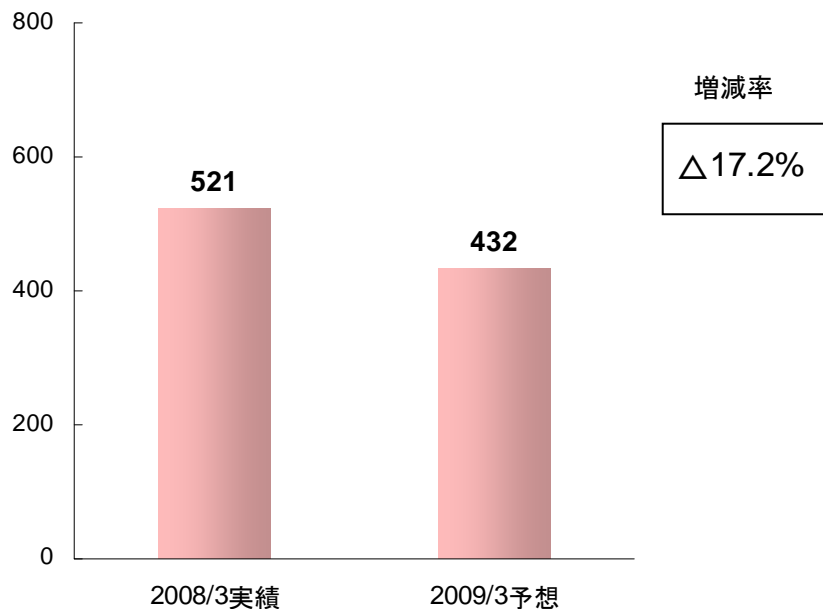
➤ 設備投資需要の急減速に伴い
大幅な減収減益となる見込み

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

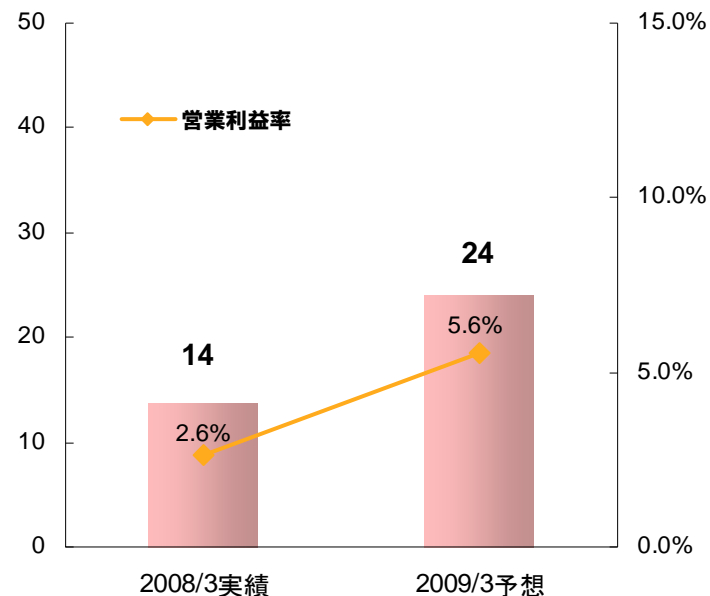
4-4. その他事業 売上高・営業利益

<2009年3月期 通期予想>

売上高 (億円)



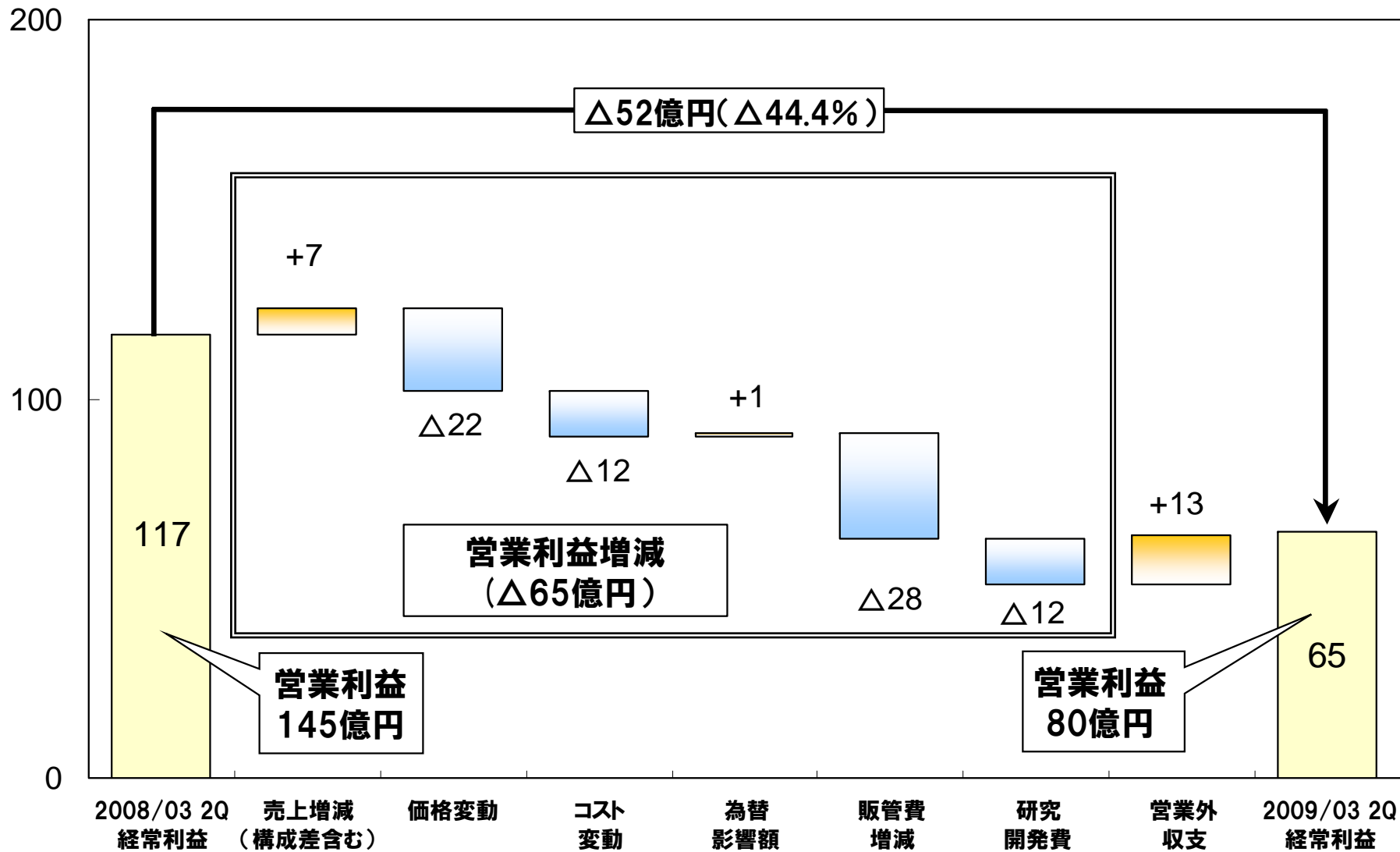
営業利益 (億円)



※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

- PC等販売子会社の譲渡などの影響により減収を見込む
- 通信カラオケ・コンテンツ事業で収益の改善を見込む

單位: 億圓



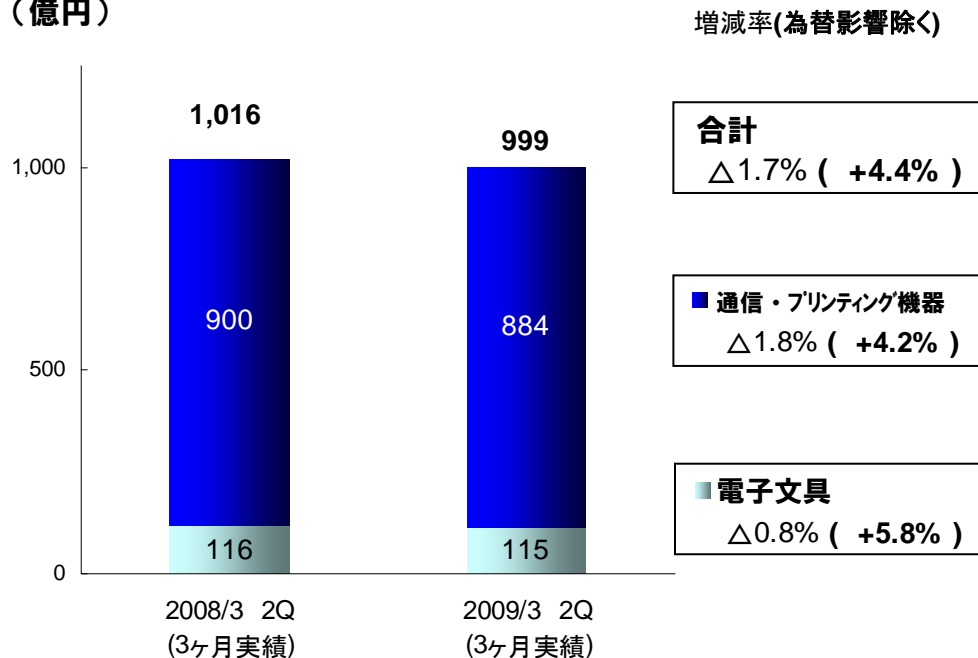
【参考資料】プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2009年3月期 2Q(7-9月実績)>



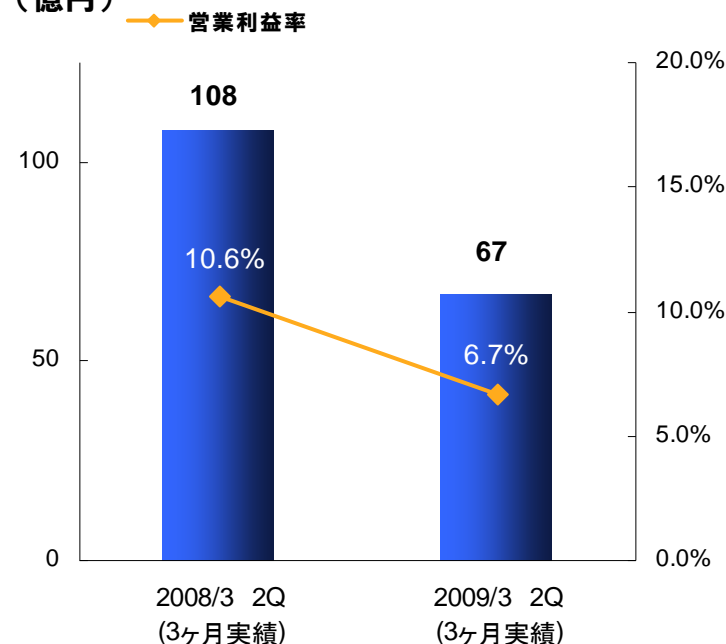
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳(億円)

	2008/3 2Q (3ヶ月実績)	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	325	323	△0.6% (+9.6%)
欧州	393	374	△4.9% (△1.3%)
アジア他	96	98	+2.2% (+9.4%)
日本	86	89	+3.3% (+3.3%)

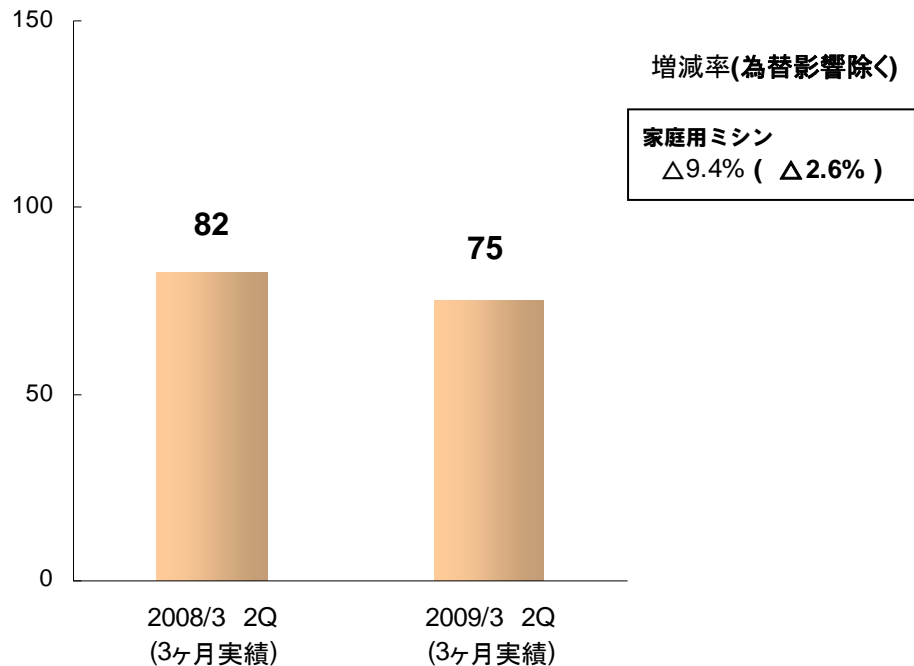
電子文具

地域別売上高内訳(億円)

	2008/3 2Q (3ヶ月実績)	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	62	60	△4.3% (+5.6%)
欧州	36	36	△0.3% (+2.8%)
アジア他	8	9	+6.3% (+11.9%)
日本	10	11	+13.4% (+13.4%)

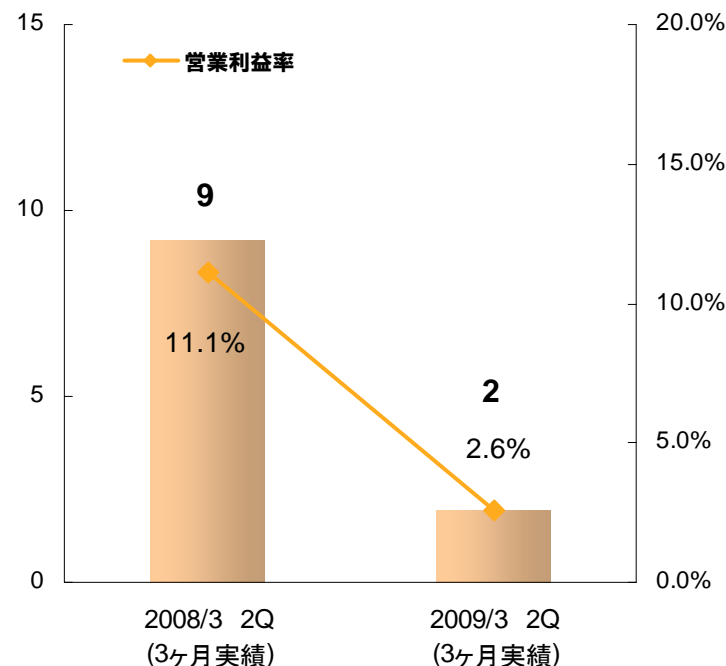
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



家庭用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (3ヶ月実績)	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	41	34	△18.5% (△10.7%)
欧州	20	20	△2.1% (+6.8%)
アジア他	6	7	+28.9% (+37.8%)
日本	15	14	△8.4% (△8.4%)

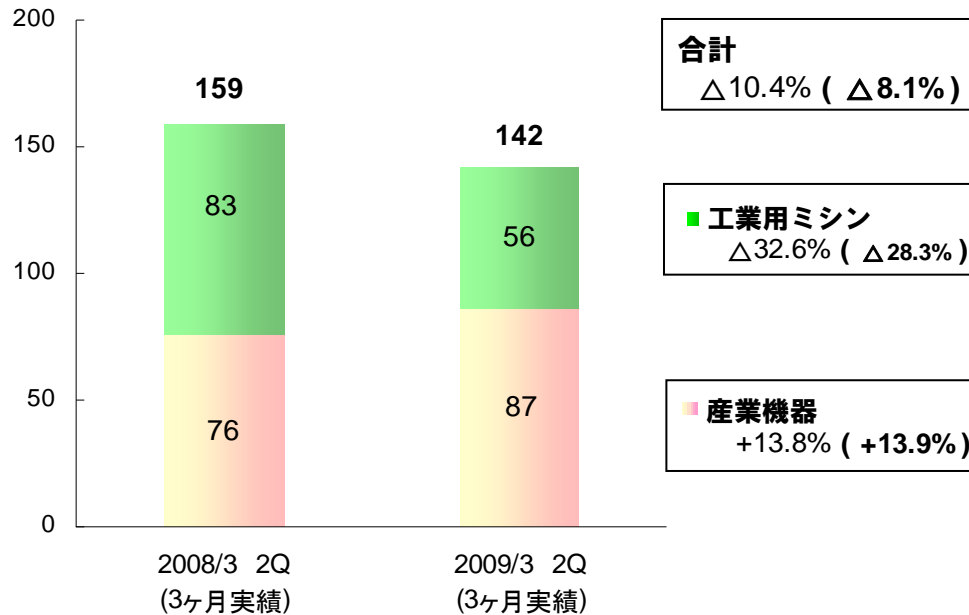
【参考資料】マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2009年3月期 2Q(7-9月実績)>



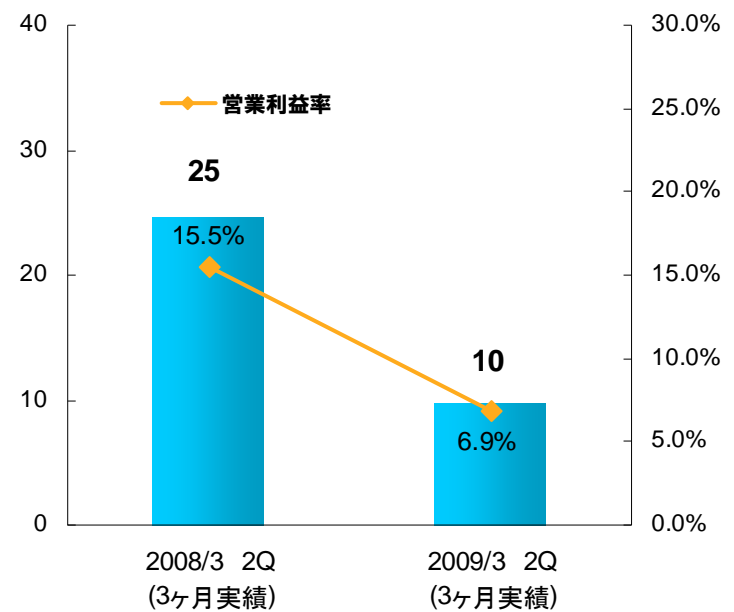
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (3ヶ月実績)	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	16	13	$\Delta 18.4\%$ ($\Delta 10.1\%$)
欧州	10	7	$\Delta 29.0\%$ ($\Delta 28.6\%$)
アジア他	48	31	$\Delta 36.3\%$ ($\Delta 31.8\%$)
日本	8	5	$\Delta 44.0\%$ ($\Delta 44.0\%$)

産業機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2008/3 2Q (3ヶ月実績)	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率
米州	4	6	+35.7%
欧州	6	5	$\Delta 8.4\%$
アジア他	48	60	+26.2%
日本	18	15	$\Delta 17.3\%$

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

【参考資料】 その他事業

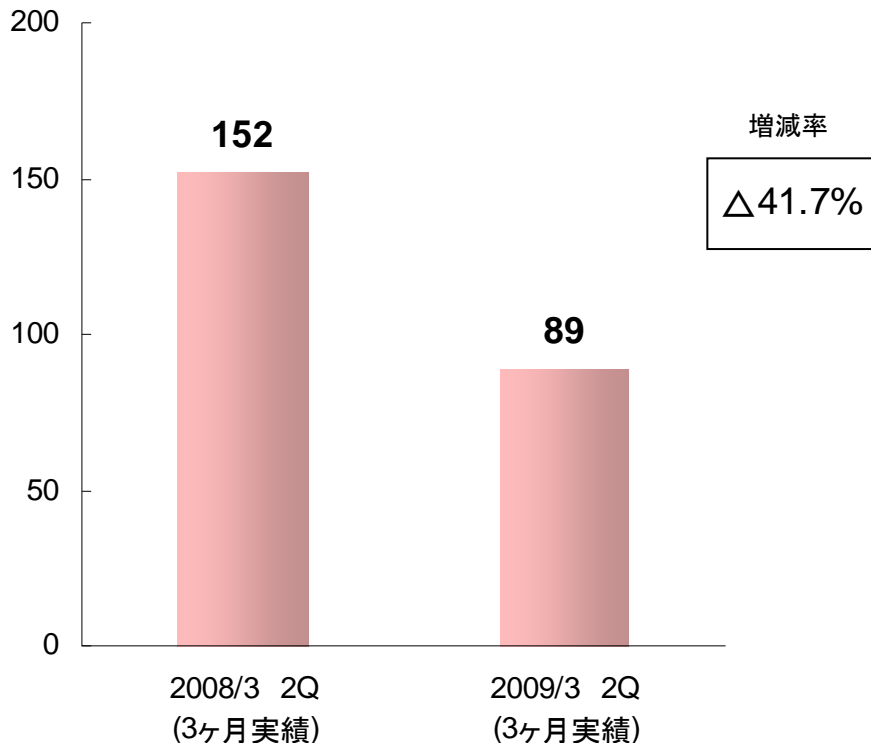
売上高・営業利益

<2009年3月期 2Q(7-9月実績)>



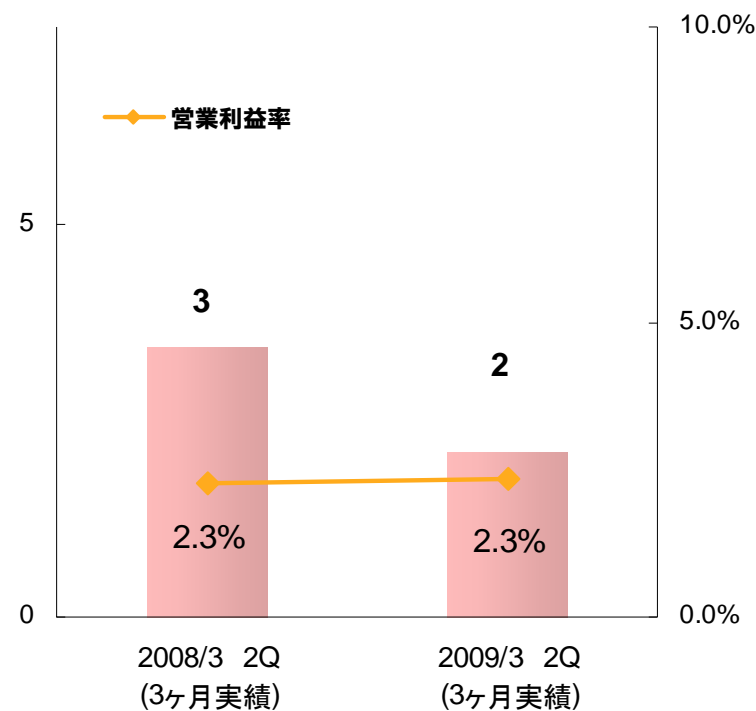
売上高

(億円)



営業利益

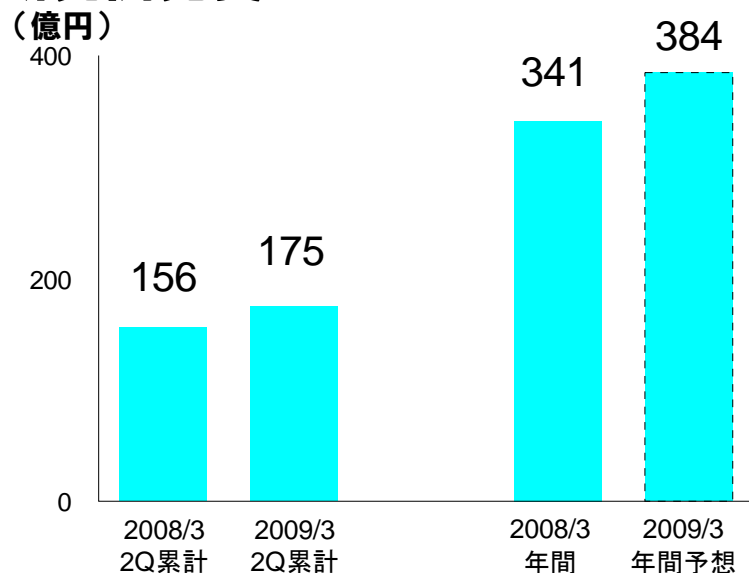
(億円)



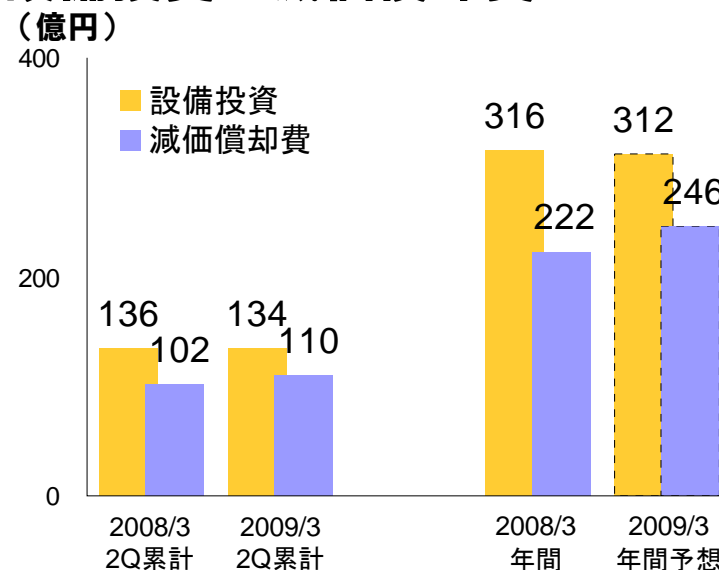
※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

【参考資料】研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産

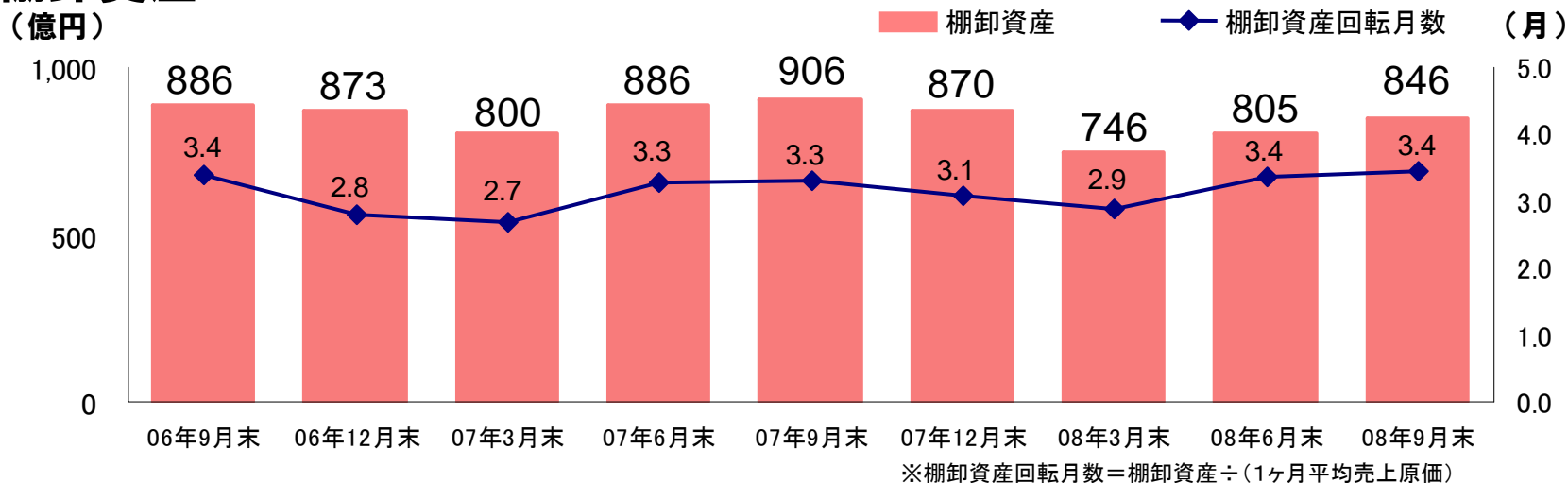
研究開発費



設備投資・減価償却費



棚卸資産



brother
at your side

